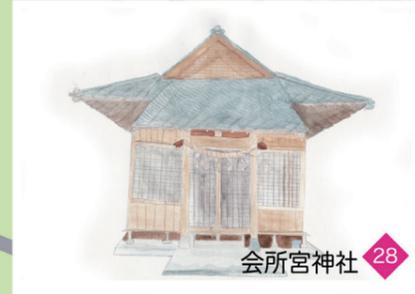
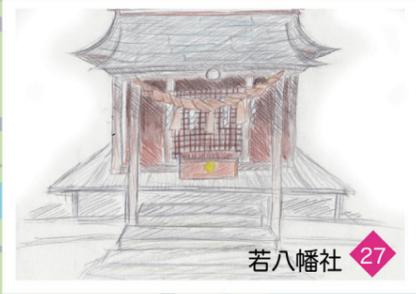
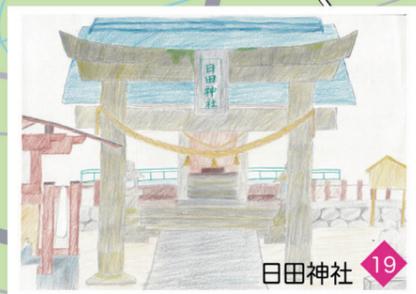
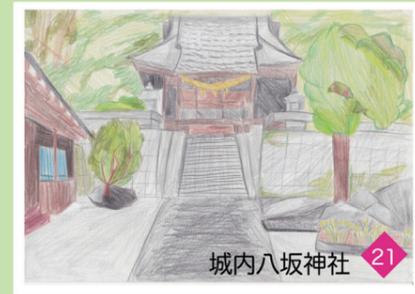


咸宜園を世界遺産に！

かんぎえん ほうかく ゆさん
「咸宜園 放学遊山」
 ひろせたんそう
廣瀬淡窓先生ゆかりの地めぐり
 淡窓先生と咸宜園で学ぶ塾生達が
 歩いた足跡

令和元年度日田市市民サービス協働事業
 「日田市東部地区マップ」



イラスト協力：日田市立東部中学校 美術部の皆さん

※番号は『廣瀬淡窓と咸宜園～近世日本の教育遺産として～資料編』の資料番号を記しています

場所の詳細
は↓から

google
マップ



17 慈眼山 (じげんざん)

鷹城、あるいは大蔵古城ともいわれています。仁寿元年(851)日田郡大領となった大蔵氏の居城跡と伝えられています。同城跡の一角に現在永興寺仏像収蔵庫が建っています。慈眼山鐘堂の下には松尾芭蕉の句碑があり、またその上の方には郡代塩谷大四郎の顕彰碑が建てられています。淡窓は、二月三月塾生らとともにここに花見に出かけています。



18 永興寺 (ようこうじ)

延久元年(1069)郡司大蔵永季が父永興の菩提を弔うために創建したお寺です。平安時代後期の「兜跋毘沙門天像」をはじめ鎌倉期の「十一面観音」興福寺の仏師康俊作の「四天王像」が伝えられており、いずれも国指定重要文化財となっています。



19 日田神社 (ひたじんじや)

日田神社は相撲の神様で日田郡司大蔵鬼太夫永季およびその祖 永弘、永興の三柱を祭ってあります。永季は相撲が強く日田殿と呼ばれ後三条天皇の天覧相撲で出雲の小冠者を倒して優勝したといわれ、天覧相撲に十五回出場し、相撲の神様としてあがめられています。日本相撲協会も日田の巡業の時は必ず代表が参拝し相撲道の発展を祈願していました。



21 城内八坂神社 (じょうないやさかじんじや)

寛永6年(1629年)に森藩主の久留島通忠公が再建したものと棟札に記してあります。隈と豆田にも八坂神社が建立されていますが、昭和16年(1941年)に築造された玉垣の寄付趣意書によれば、それらより遥かに古く創建された神社であるとされています。



22 大原八幡宮 (おおはらはちまんぐう)

寛永元年(1624年)日田永山城主石川主殿守忠総により、元大原から現在の位置へ遷座されました。その際、社殿形式に八幡造を用いて建立されています。境内とその周辺は、豊かな自然に恵まれているので、淡窓は度々訪れました。



23 大原金比羅社 (おおはらこんびらしゃ)

金比羅神社は、香川県仲多度郡琴平町の金刀比羅宮を総本宮とし、その主祭神である大物主神を祀る神社です。大原金比羅社は、文化6年(1809年)に勧請されました。森の中の坂道、いくつもの鳥居を抜け、最後の鳥居を抜けると明るい境内が現れます。



24 丸尾神社 (まるおじんじや)

石段を登ると台風で壊れた石造鳥居が広場の脇に寄せられています。明治40年(1907年)の銘が見え、この石段の頂上部分に建っていたようです。石殿の正面には天照大御神を中心に左右に天津神・國津神・下には八百萬大神と刻まれており、上には日と月を象った紋もあります。



25 宮地獄神社 (みやじだけじんじや)

明治時代にまとめられた「豊後国日田郡社明細牒」によれば、当社の創建は安政年間(1854～1860年)とされています。祭神は勝戸比女神・安部高麿・安部助麿とされています。



26 元大原神社 (もとおおはらじんじや)

伝承によれば、貞観13年(871年)大蔵永弘により、鞍形尾から求来里の大原に遷座された神社です。承保元年(1074年)大蔵永季の時に放生会が始まったといわれています。境内には貞和3年(1347年)の宝篋印塔があり、大工一乗の名が刻まれており日田最古の在銘石塔となっています。



27 若八幡社 (わか八幡しゃ)

宮太夫にある若八幡社は大原八幡宮の摂社です。放生会の時、神輿の行幸先として多くの人が参拝されています。敷地内にある稻荷神社は文政年間に廣瀬家二世源兵衛によって勧請されたものです。



28 会所宮神社 (よそみやじんじや)

この神社は、日田郡司の大蔵永弘によって、応神天皇・神功皇后・仲哀天皇の八幡三柱が祀られ「会所八幡神社」と呼ばれていました。明治43年(1910年)会所山の山頂にある「久津媛神社」より、久津媛神(比佐津媛神)景行天皇(大足彦忍代別命)を合祀しています。現在は「会所宮神社」という社号になっています。



29 久津媛神社 (ひさつひめじんじや)

『豊後国風土記』によると、景行天皇が熊襲征伐の帰りに豊後国日田郡に立ち寄った際に「ヒサツヒメ」と名乗る神が人に姿を変えて出迎え、郡内の様子を話したそうです。また、久津媛が詠り、日田の地名の由来になったと記述されています。



30 鬼塚 (おんづか)

三芳の刃連町に、鬼塚と呼ばれる小高い丘があります。昔、川だった所を人々は少しずつ川石を取りのぞいて田園を造り、その時集めた川石を積み上げ、やがて今のような塚の形が出来上りました。今は多くの石仏が奉納されています。



37 若宮神社 (わかみやじんじや)

御祭神は、仁徳天皇で、素盞鳴命・稲田姫命・菅原神・罔象女命・火産靈命を合祀しています。第60代醍醐天皇の延喜11年(911年)に郡司大蔵氏は、日田郡を五郷に若宮社、三庄に老松社をそれぞれ祭らせました。本社は刃連郷の若八幡社になります。



58 小ヶ瀬井路取水口 (おがせいろしずすいぐち)

文政6年(1823年)廣瀬久兵衛らが郡代、塩谷大四郎の命を受け、翌文政7年(1824年)に起工、多大の苦勞を重ね文政8年(1825年)12月に竣工した水路です。その後修復を重ねて天保2年(1831年)に完成しました。これにより日田13ヶ村、五百余町歩が潤い、四十余町の新田が開かれ、さらに日田川通船も可能となりました。



59 鞍形尾神社 (くらがとおじんじや)

天武天皇8年(679年)靱連郷岩松の峰に八幡神の出現があり、これを祀ったのが鞍形尾神社といわれています(日田造領記)神殿の西側には大きな磐座があり、神聖な場所であることを示しています。神社のまわりは県指定の自然林となっています。



60 雪来館 (せつらいかん)

淡窓の弟旭荘は文久元年(1861年)4月大阪から日田に帰り同12月に刃連町の北西部、県道日田戸畑線沿いの小高い丘に雪来館を建て、家の周りに桜、梅、梨、竹など植え住んでいました。側の会所山は青少年時代から遊んだ所でした。しかし、約1年後文久2年に旭荘は大阪に移っています。



イラスト協力：日田市立東部中学校 美術部の皆さん
参考文献：廣瀬淡窓と咸宜園～近世日本の教育遺産として～資料編
日田市史
地図制作：かんざえんぼうがくゆさんの会

咸宜園放学遊山の会
ホームページ